



18年10月に始まった町内特産品の取り寄せカタログ販売

認知症サポーターの養成  
敬老会の一部見直し（対象年齢の引き上げなど）

◎子育て支援・児童福祉  
一時保育・延長保育・放課後児童クラブなどの充実  
平泉保育所と幼稚園の一体的運営  
子育て支援センター機能の充実

◎障害者福祉  
地域生活支援事業  
コミュニケーション支援事業  
ユニバーサルデザインでの公共施設整備

◎国民健康保険  
適正賦課・収納率の向上・医療費の適正化  
特定検診、保健指導の義務化への準備

◎介護保険  
一関地区広域行政組合を中心とした制度運用

◎健康福祉交流館  
足湯の設置  
休館日の見直し（第2・第4火曜の営業）

### 5 活力ある産業のまち（産業振興）

◎農業の振興  
品目横断的経営安定対策への対応  
農地・水・環境保全向上対策の推進  
中山間地等直接支払制度の効果的な実施

◎畜産の振興  
「岩手南牛」の産地ブランド化

◎園芸作物の振興  
農業団体を対象とした推進農作物の新規栽培と増反に対する助成

### 3 学び楽しむ文化のまち（教育・スポーツ・文化振興）

◎生涯学習の推進  
学習機会の充実と情報提供  
◎学校教育・教育施設  
「生きる力」の育成、学力向上対策  
平泉中学校舎改築に向けた基本計画策定

◎世界遺産登録の推進  
イコモス（国際記念物遺跡会議）の現地調査への対応



世界遺産登録に向け、昨年6月に開かれた国際専門家会議

平成18年度に開設した東京都江東区の「平泉アンテナショップ」の充実とカタログ販売の充実強化  
地産地消の推進

◎林業の振興  
森林病害虫防除事業の実施  
「いわての森林（もり）の感謝祭」の開催（岩手県と共催）  
長島杉のブランド化事業

◎商工業の振興  
観光振興と連動した取り組みの展開  
特色のある土産品の開発  
高田前工業団地への誘致促進

◎観光の振興  
観光ルネサンス事業の導入支援  
4都市観光広域連携の充実  
「北東北デスティネーションキャンペーン」への参加  
町営中尊寺第1駐車場入り口付近の町道拡幅改良  
町営毛越寺駐車場の無料休憩所の設置

世界遺産フォーラムの開催  
◎文化・芸術  
各種団体への支援  
町産業文化祭、公民館まつりの開催

◎スポーツの振興  
日常的スポーツ活動の普及振興

◎男女共同参画の推進  
町男女共同参画プランの推進

### 4 快適な生活環境のまち（生活環境の保全整備）

◎国際交流・国内交流  
国際交流、国際理解活動の支援  
中国天台県との学校間交流の促進  
東京都江東区などとの交流

◎景観対策  
「景観計画」の策定（再掲）

◎住宅  
木造住宅耐震診断支援事業の実施  
町営高田前団地の耐震診断  
町営住宅への住宅用火災警報器の設置



計画的な整備が図られる道路網

### 6 行き交う便利なまち（交流基盤整備）

◎道路網  
町道中学校線、坂下線、志羅山線の整備  
県道平泉停車場中尊寺線（中尊寺通り）の整備に向けた検討  
一関遊水地・平泉バイパス関連事業への協力  
黄金沢地区土取跡地利用に向けた関係機関との協議

◎道の駅  
引き続き国土交通省および岩手県と協議しながら整備に向けて取り組む

◎生活交通  
既存のバス路線の維持と利用促進



出初式で分列行進を披露する町消防団員

### ◎河川

準用河川笹谷川の改修  
一関遊水地事業小堤工事の促進  
平泉地区水辺プラザの整備

◎水道事業  
老朽化した配水管の布設替えなどの整備  
水道料金の改定

◎下水道事業  
維持管理の強化と水洗化率の向上  
浄化槽設置補助

◎環境衛生  
分別の徹底と再利用・再生利用の推進によるごみの減量化

### ◎消防・防災

防火思想の徹底、防災体制の整備  
常備消防や救急医療の即応体制などの強化  
消防団員の適正確保と自主防災組織の育成支援

### ◎交通安全

「第8次平泉町交通安全計画」に基づく活動  
行政区対抗交通安全コンクールの開催  
◎消費者行政  
振り込め詐欺などへの対応  
消費者救済資金貸付制度の活用

### 7 共に創るまち（官民協働）

◎地域情報網の整備  
電子申請・届け出など共同運用  
平成22年度までのブロードバンド未整備地域の解消に向けた取り組み

◎住民参画・地域活動  
自立施策推進プロジェクトチーム  
各行政区における地域課題対応事業

## おわりにー 世界遺産登録への準備を

平泉の原点は今から900年前、自ら戦乱の中を生き抜いた奥州藤原氏初代清衡公が、仏教思想に基づいてこの地に争いのない平和な理想郷・浄土空間を現出したところにあります。その思想がここに住む人たちによって脈々と受け継がれ、そのことが評価されての世界遺産登録です。本登録を来年に控え、私たちはこの原点に立ち返り、世界平和を希求していく態度が求められているものと考えています。

先にも申し上げましたが、町の将来像についての議論を喚起しながら、私としては、なお当面の自立への努力をしていかなければなりません。平成19年度は、町の自立を有効なものにするための剣が峰であり、ここ数年が財政運営の正念場であると考えられています。

町民の皆さまと議員各位の英知を結集してこれ乗り越え、世界遺産登録のその日を晴れやかに迎えるべく準備してまいります。小さくともキラリと光るまちづくりを施策目標として、町政を推進してまいります。

町民の皆さま方の町政への参画を心からお願ひ申し上げます。平成19年3月7日  
平泉町長 高橋 一 男